特別国民体育大会ソフトテニス競技北海道ブロック予選会
兼
北海道体育大会（少年の部：シングルス）
開　催　要　項

1	日　　時	2023 年６月 24 日（土）～25 日（日）　受付終了８時 30 分　受付終了後開会式
2	会　　場	滝川市テニスコート（滝川市二の坂町東３丁目　滝の川公園内） ★砂入り人工芝８面　　℡（0125）23-4617
3	主　　催	公益財団法人 日本スポーツ協会　　公益財団法人 北海道スポーツ協会
4	主　　管	北海道ソフトテニス連盟（強化委員会）、北海道ソフトテニス連盟高校部 滝川ソフトテニス連盟
5	後　　援	スポーツ庁・北海道
6	種　　目	少年男子・少年女子　シングルス
7	大会使用球	ケンコーボール
8	競技方法	（１）別添『2023 年度国民体育大会道予選会実施要領』及び『国民体育大会北海道代表選考規程』に基づき実施する。 （２）７ゲームマッチ （３）ルール等は、公益財団法人日本ソフトテニス連盟（以下、日連という）ソフトテニスハンドブックによる。
9	参加資格	（１）平成 17 年４月２日以降平成 21 年４月１日以前に生まれた者 （２）日本国籍を有する者とし、本ブロック予選会への出場資格を得た者 ただし、日本国籍を有しない者は、学校教育法第１条に定める学校に、申込時、１年以上継続して在籍する生徒であれば良い （３）居住地を示す現住所が北海道内である者、又は勤務地が北海道内である者、又は学校教育法第１条に規定する学校に在籍している場合には、 学校の所在地が北海道内にある者 （４）国民体育大会本選への出場意思があり、審判ができる者。 （５）高校生（１～３年） 全道高校大会ポイント上位者 北海道ソフトテニス連盟高校部（強化委員会）推薦選手　20 名程度 （６）中学生（３年生）北海道ソフトテニス連盟中学部推薦　４名 （７）指定シードＡ　ハイスクールジャパンカップ南・北北海道予選会（シングルス）南北優勝者 指定シードＢ　北海道高校新人戦（シングルス）ベスト４入賞者 指定シードＣ　北海道ソフテニス連盟高校部（強化委員会）推薦（中学生含む）　４名以内
10	申込期限	2023 年５月２６日（金）
11	参 加 料	１名　2,000 円 ★ただし、タブルス選考会に出場しない選手については、下記の国体参加費を別途申し受けます。 （日ス協参加者負担金 1,500 円及び日ス協傷害補償制度負担金 1,000 円の合計 2,500 円）
12	申込方法	≪参加申込方法≫ ・日本連盟、会員登録新システム（イベント検索画面）より期限までに申し込むこと。 ≪参加費・国体参加費支払方法≫ ・日本連盟、会員登録新システムによる申込の場合は、選択した支払方法により期限までにお支払いください。

13	参加選手 留意事項	（１）所定の時刻までに受付を完了し、開会式には、必ず出席すること。 （２）日連指定のゼッケンを着用し、四隅を止めること。 （３）ラケット（公認マーク添付）、シューズ、ユニフォームは、日連が公認したメーカーの製品を使用（着用）し、当該年度の日連の「ユニフォーム等の着用基準」を遵守すること。 （４）公認審判員ワッペン及びイエローカードを携行し、審判を担当するときは、原則ワッペンを左胸に着用すること。 （５）ベンチ入り指導者は認めない。 （６）優勝者は必ず「持ち回り優勝杯」を持ち帰り、次年度の大会時に整備のうえ、責任を持って当該校の選手が返還すること。 （７）荒天の場等合の大会の取り扱いについては、当日会場で、受付時刻までに発表する。 （８）国民体育大会候補内定選手になった選手については、参加承諾書を提出すること。 （９）本選考会に参加する高校生については、国民体育大会支部予選免除とする。 (10) 閉会式において、以下の結果発表を行う ・国民体育大会シングルス北海道代表選手候補　５名 (11) 試合動画及び入賞者の写真を北海道ソフトテニス連盟のホームページ、ＳＮＳ、ＹｏｕＴｕｂｅ 及び広報誌に掲載させていただく場合があります。動画及び写真の掲載について不都合がある場合は、お手数ですが広報担当者まで個別にご連絡願います。 広報 IT 委員会　担当：笠原　mail: kasa2316@yahoo.co.jp (12) 試合については、YouTube 等で配信することがあります。その旨を、参加校は参加者に周知していただき、何か支障がある場合は、各支部の道専門委員に申し出てください。 (13) コロナウィルス感染拡大により、要項に変更が生じることがある。 ★変更が生じた際は、専門委員や高体連ソフトテニス専門部ホームページにより参加校へ連絡する。

この事業は、競輪の補助を受けて実施していま

競輪の補助事業

2023 年度　国民体育大会（鹿児島開催）少年男女北海道予選会実施要領

北海道ソフトテニス連盟強化委員会

1.　開催日時

種別・会場	試合	受付・開始時間
ダブルス （北見市東陵運動公園テニスコート）	１次予選	８月 10 日（木）午前８時３０分受付終了、９時試合開始
	２次予選	８月 11 日（金）午前８時３０分受付終了、９時試合開始
	最終予選	８月 12 日（土）午前８時３０分受付終了、９時試合開始
シングルス （滝川市テニスコート）	1・2 次予選	６月 24 日（土）午前８時３０分受付終了、９時試合開始
	最終予選	６月 25 日（日）午前８時３０分受付終了、９時試合開始

2.　選考方法

（1）ダブルス

「指定シードペア（代表候補選手）」は、地区予選を免除。（各支部割当て枠外とする）

該当するペアの選手変更は一切認めない。ただし、上記権利取得後に地区予選に出場した場合は（ペア変更を含む）は、権利を消滅する。中学３年生は、強化委員会推薦選手を除き、道予選会の１次予選（初日）から２０ペアに限り出場を認める。

●１次予選（初日）

・トーナメント戦又はリーグ戦により４ペアを選出する。

●２次予選（２日目）

・上記４ペアと指定シードペア（代表候補選手）８ペアを、Ａ・Ｂブロック各６ペアに分け、総当りリーグ戦（１回）により、Ａ・Ｂブロック各上位２ペアを最終リーグに進出させる。

●最終予選（３日目）

・上記４ペア（監督推薦ペアがある場合は５ペア）により、総当り最終リーグ戦（１回）を行い、トータルポイントで上位のペアから順に代表ペアとして内定する。

（2）シングルス

シングルスは、競技者育成プログラムと連動し、参加基準を設けて以下の通り実施する。

●１次予選（初日）

・U17step2 該当選手（中学 3 年生含む）及び U20step2 該当選手（高校 3 年生対象）を対象としてトーナメント戦又はリーグ戦により上位２名を選出する。

●２次予選（初日）

・１次予選上位２名にハイスクールジャパンカップ南北予選（シングルス）優勝及び北海道新人戦（シングルス）ベスト４を加えた最大８名を２ブロックに分け、総当りリーグ戦（１回）により、各ブロック上位２名を最終リーグに進出させる。なお、１次予選選手が重複した場合、強化委員会より補充選手を推薦する。

●最終予選（２日目）

・２次予選上位４名により、総当り最終定リーグ戦（１次リーグの結果を生かして実施）を行い、トータルポイントで上位の者から順位を決定する。なお、ダブルスの選考を優先とするため、この時点ではシングルスの内定候補者として位置づけ、ダブルスの選手選考が確定した後にシングルスの代表選手を確定させる。

■注意事項

１．ダブルス及びシングルスで内定となった選手が辞退をする場合は、それぞれの予選会で次点となったペア（ダブルスの場合）又は選手（シングルスの場合）を繰り上げて内定とする。

２．代表となる選手は、監督の指示により、ダブルス、シングルスのいずれかにも出場することに承諾しなければならない。（代表選手は、事前に承諾書の提出が必要となる。）

３．ベンチ入り指導者について　①シングルスでは認めない。②ダブルスでは１次予選は認めるが、それ以降は認めな

い。

４．参加数及び当日の天候等、特別な事情が生じた場合、上記の試合方法を変更することがある。

「国民体育大会北海道代表選考規程」

1. 少年男女、成年男女の監督・コーチは、強化委員会が推薦し、国体代表選考委員会の承認を経て、理事会で審議・決定する。
2. 代表選手の選考は、以下に示した基準（注①）に該当したペア（同一ペアに限る）を「国体代表内定ペア（１ペア）」とし、予選会を免除する。

   なお、対象が２ペア（ダブルス）以上となった場合は、国体代表選考委員会で協議した後、道連理事会で最終審議・決定を行う。※少年のシングルスについては、別に定める。
3. 上記２以外の代表選手選考会は、「国体道予選会実施要領」に基づき、大会要項に定めるペア数（シングルスは選手）を選考する。

   なお、最終リーグの順位は「ソフトテニスハンドブック大会運営規則第３章競技大会第１０条」により決定する。
4. 代表選手５名の他に補欠選手を各種目１名に限り置くことができるものとする。補欠選手の選考基準は、以下に示す注③の通りとし、強化委員会の承認を得て道連理事会で審議・決定する。

５．国体代表選考委員会は、上記により選出された選手のほか、強化委員会から推薦された監督・コーチ・補欠選手の選考について審議する。また、選手（補欠含む）及び監督・コーチに欠員が生じた場合には、速やかに強化委員会と協議し、補充の選考をしなければならない。

６．上記による選考結果は、国体道予選後の道連理事会で正式に発表する。

７．監督・コーチ・選手（補欠含む）は種目を問わずに一致団結し、常に北海道代表としての自覚と品位を保ち、競技力の向上に努めなければならない。

なお、これらに反する行為があった者、または、そのような行為を看過した者は、国体代表選考委員会の審議により、北海道代表の資格を失うことがある。

８．国体代表選考委員会は、必要に応じて理事長が招集する。なお、委員は次のとおりとするが、審議の際には、会長（代理又は委任可）、副会長（２名以上）、理事長、副理事長（強化委員長を含む２名以上）の出席を要す。

※国体代表選考委員の該当者：会長、副会長、理事長、副理事長

注1 ：少年男女における「国体代表内定ペア・選手」

ダブルス（同一ペアに限る）	シングルス
○当年度全日本高校選手権　上位８ペア ○当年度ハイスクールジャパンカップ　上位２ペア	○当年度ハイスクールジャパンカップ（シングルス）　上位４名 ○全日本シングルス選手権　上位８名 ただし、ダブルスを優先として代表選手を決定するため、上記に該当する選手は、内定候補として、シングルス予選会を免除し、シングル予選会の１位以上の順位とする。

注1 ：成年男女における「国体代表内定ペア・選手」

ダブルス（同一ペアに限る）	シングルス
○前年度東・西日本選手権（一般）　上位８ペア ○前年度全日本学生選手権　上位４ペア ○前年度全日本社会人選手権（一般）　上位８ペア ○前年度全日本選手権　上位 16 ペア	なし

注2 ：少年男女における「指定シードペア・選手（２次予選）」

ダブルス	シングルス
○代表候補選手　男女各 16 名 ※北海道高校新人戦、北海道高校インドア大会、北海道高校選手権等及び中学の各種大会結果も考慮し、高校部の推薦に基づき、強化委員会が最終的に承認し、	○当年度ハイスクールジャパンカップ南北予選会（シングルス）　各優勝者 ○高校部強化委員推薦　４名以内 ○前年度北海道高校新人戦（シングルス）　ベスト４

指定シードペアを選出する。	
※少年男女の監督が予選会の前に確定している場合には、男女ダブルス１ペア、シングルス１名に限り、監督推薦として最終リーグ（特別シード）から出場させることができる。この場合も強化委員会の承認を必要とする。	

注3 ：成年男女における「指定シードペア・選手（最終予選）」

ダブルス（同一ペアに限る）		シングルス	
○当年度北海道春季選手権（一般）	優　勝ペア	○当年度北海道シングルス選手権	上位２名
○前年度北海道選手権（一般）	上位２ペア	○当年度全日本シングルス選手権	上位 16 名
○前年度東・西日本選手権（一般）	上位 16 ペア	○当年度全日本学生シングルス選手権	上位８名
○前年度全日本学生選手権	上位８ペア		
○前年度全日本社会人選手権（一般）	上位 16 ペア		
○前年度全日本選手権（一般）	上位 32 ペア		

注4 ：補欠選手の選考基準

少年男女	成年男女
ダブルス及びシングルス予選会における次点選手から監督・コーチの意向を踏まえ、選考する。	ダブルス及びシングルス予選会における次点選手及び当年度の全日本シングルス選手権、北海道春季選手権、北海道選手権、東日本選手権、全日本学生選手権で上位入賞した選手の中から監督・コーチの意向を踏まえ、選考する。

■改正内容

○平成 12 年 1 月 22 日理事会：補欠制について

補欠選手を認めず、選手変更を要する非常事態の場合出発前は国体代表選考委員会で、出発後は選手団の総監督に委ねることとした。

○平成 14 年 5 月 25 日理事会：国体代表選考委員会について

委員については、会長、副会長、理事長、副理事長とし、審議の際は、会長（代理含む）、副会長（2 名以上）、理事長、副理事長（強化委員長を含む 2 名以上）の出席を要することとした。

○平成 18 年 6 月 10 日理事会：国体代表内定組の取り扱いについて

国体代表内定基準を作り、その対象組が複数生じた場合の取り扱いを明記した。

○平成 26 年 3 月 1 日理事会：監督・コーチの決定について

国体の監督・コーチは、強化委員会が推薦し、国体代表選考委員会の了承を経て、理事会で審議・決定することとした。

○平成 27 年 3 月 7 日理事会：補欠選手の選考及びシングルスの導入に伴う変更

シングルスの導入に伴い代表選手が５名（ダブルス４名、シングルス１名）になることから怪我による選手変更や練習パートナーなどの問題に対応出来るように補欠選手を１名置くことにしたほか、シングルスの選考に関わる事項を明記した。